



「第4回 情報教育研修会」へ小林努氏講演へ
所長 平安山 敏和

十一月後半から沖縄でも冬の気配が感じられるようになってきました。各園・学校におかれましては、特に子どもたちの体調管理について注意喚起しながら、充実した教育実践が行われていることと存じます。

十一月二十八日の「第四回情報教育研修会（講演会）」の開催の際には、各学校から多数の参加がありました。感謝申し上げます。

今年度は、文部科学省 初等中等教育局 情報教育・外国語教育課 情報教育振興室 室長補佐 小林努氏をお招きして、「新学習指導要領におけるプログラミング教育（※1）の授業づくりに向けて」を演題に講演会を行いました。

講演では、「新たな社会 Society 5.0 の到来」「新学習指導要領（プログラミング教育関連）」「プログラミング教育で育む資質能力（※1）」「プログラミング的思考（※2）と情報活用能力の育成」「指導事例5学年算数・6学年理科」「ポータルサイト掲載のサンプルプログラム例」「新中学校学習指導要領における情報活用能力育成」「情報モラル教育の必要性」「我が国の教育の今後の方向性」などについて説明や紹介が行われ、参加者の皆様からは左記の趣旨の感想を頂きました。

・いろいろな情報（教育）のサイト等の紹介もあり、是非それらを活用したい。
・これから生き抜くことも達のために、少しずつパソコンに触れる機会を増やしていきたいと感じた。
・プログラミング（教育）が始まるということで、教師側が不安になっているが「プログラミングに慣れ親しませることを目的としている」と聞いて安心した。
・具体的（プログラミング）の指導法の例などを知りたい。
・今、国や世界が求めている教育が本当に未来を担う子ども達のためになるのか、「Society 5.0」による人間中心の社会は本当に未来のためになるのか、あまりにも急激な変化の様な感じを受け不安の方が大きい。
・次年度からのスタートだが、まだ充分な準備（知識・スキル）ができていないと感じ不安の方が大きい。
・タブレット配布済みの学校の公開授業と全学校へのタブレット配布を希望。
・プログラミング教育が那覇市内の学校で子ども達が学べる環境にあるか疑問。
・これからの社会に合わせた取り組みを学校や市で協力していかねばならないと思った。

本研究所としても、今回の講演や参加者の皆様の感想から、今後、プログラミング教育に関する実践事例の提示や、情報機器の整備・充実に向けた取り組みが急務であることを痛感しております。これを踏まえ、さらに情報教育の充実に資するよう努めてまいります。今後ともご協力をよろしくお願い致します。

（※1）プログラミング教育で育む資質能力「知識及び技能」「身近な生活でコンピュータが活用されていることや問題の解決には必要な手順があることに気付くこと。」「思考力、判断力、表現力等」発達の段階に即してプログラミング的思考を育成すること。」「学びに向かう力、人間性等」発達の段階に即してコンピュータの働きをよりよい人生や社会づくりに生かそうとする態度を涵養すること。」「（※2）プログラミング的思考「自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組合せが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号を、どのように組み合わせたらいいのか、記号の組合せをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのか、といったことを論理的に考えていく力」（小学校プログラミング教育の手引（第二版）平成三十年十一月文部科学省P.13より抜粋）

12月の教育研究所事業予定

- 3日（火）第12回 中堅教諭等資質向上研修（厚）
- 5日（木）第13回 初任者研修【特活G研】
- 12日（木）第4回 初任指導教員等連絡協議会（厚）

研究所図書室について

研究所図書室には先生方の教材研究や理論研究に役立つ書物が多数蔵書されています。図書搬送システムを使用しての貸し出し可能です。是非御利用下さい。下記は今月の新刊紹介です。

書名	著者
『子どもが動き出す授業づくり』 ー総合・道徳・保健の時間にできる 「主体的・対話的で深い学び」ー	上野山 皓 著
『世界一わかりやすい！ 会話形式で学ぶ 図画工作科の授業づくり』	岡田 京子 著
小学校 これだけは知っておきたい 新「体育の授業」の基本』	白旗 和也 著
『小学校 図工の授業づくり はじめの一歩』	南 育子 著
『面白理科授業の極意 未知への探求で 好奇心をかき立てる感動の理科授業』	左巻 健男 著

各経年研の研究授業について

「中堅教諭等資質向上研修」の研究授業が終了しました。35名の小・中学校教諭が道徳科もしくは学級活動の研究授業を公開し、授業づくりを通して、個人の課題解決に取り組みました。研究授業には、教育研究所指導主事、学校教育課指導主事、教育相談課指導主事が参加し、指導助言を行いました。

関係校では、校長先生や教頭先生を中心に、校内の先生方からも多くの示唆を含む助言がありました。御協力ありがとうございました。

また「教職2年目研修」「教職3年目研修」の研究授業に関しましては令和2年1月までの取組となります。引き続き、よろしくお願いいたします。



指導主事参加 研究授業・授業研究会検討会